

民都大阪フィランソロピー会議 人材・資金合同分科会

2018年度のまとめと次年度の予定

分科会リーダー
佐々木利廣(京都産業大学)

2018年度人材・資金分科会の活動目標

- 「関西（大阪）発コレクティブ・インパクト（CI）への挑戦」がキーワード。
- 関西（大阪）発コレクティブ・インパクトの実現のための関西の強みや課題から解決策を提示。
- 多様な主体によるネットワークをどのように形成するかが第一の課題
- 非営利セクターにおける人材の高齢化や後継者不足などの状況を踏まえ、人材をどのように確保・育成するのが第二の課題

人材・資金分科会の構成

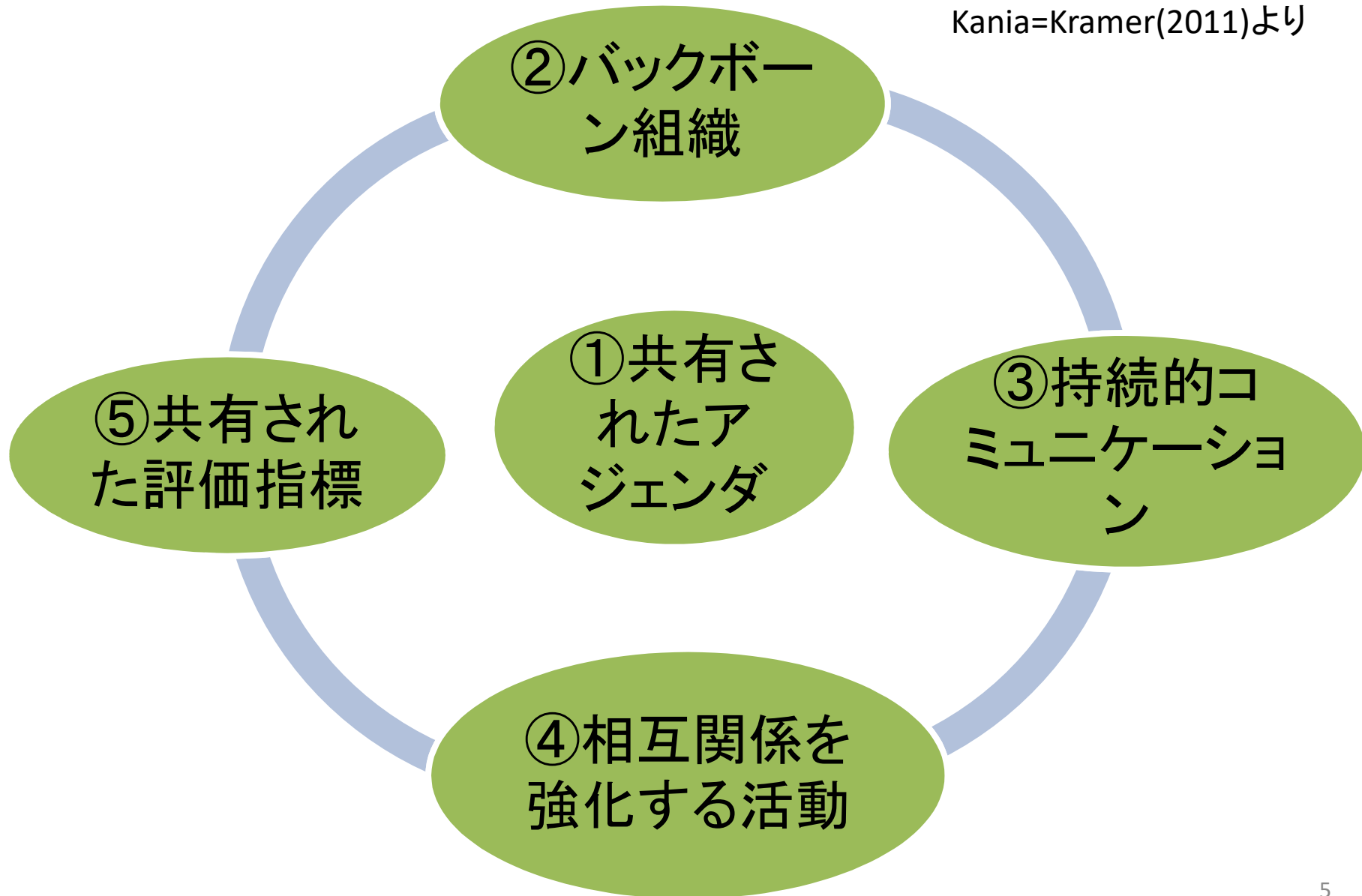
氏名	所属等	備考	
佐々木 利廣	京都産業大学経営学部教授	人材分科会	リーダー
大杉 卓三	京都産業大学経営学部准教授	資金分科会	リーダー
横山 恵子	関西大学商学部教授	人材・資金	学識経験者
後藤 祐一	尾道市立大学経済情報学部准教授	人材・資金	
吉田忠彦	近畿大学経営学部教授	人材・資金	
小室達章	金城学院大学国際情報学部教授	人材・資金	
中嶋貴子	大阪商業大学公共学部公共学科専任講師	人材・資金	
押栗 泰代	認定NPO法人マイママ・セラピー理事長	人材・資金	NPO法人関係者
漆原 由香利	特定非営利活動法人NPOぱれっと理事長	人材・資金	
堀野 亘求	認定特定非営利活動法人大阪NPOセンター事務局長	人材・資金	
南 貴美子	大阪ガス株式会社地域共創部門近畿圏部 ソーシャルデザイン室	人材・資金	企業関係者
山本 高久	大阪商工信用金庫常務理事	人材・資金	
宮高 豪	セイコー運輸株式会社代表取締役	人材・資金	
満井 祐輝	阪南市役所事業部都市整備課総括主査	人材・資金	行政関係者
増田 佑介	藤井寺市役所 市民生活部 協働人権課協働推進担当	人材・資金	
小畠 崇史	丹波市まちづくり部市民活動課副課長兼市民活動係長	人材・資金	

2018年度分科会での活動

No	日時	内容	話題提供
1	7/2大阪 市役所	分科会予定とコレクティブ・インパクトについての共通理解	NPO担当者 1名
2	7/19大阪 市役所	コレクティブ・インパクトとして有名な事例である米国シンシナティのstrive togetherのケースを基に、5つの機能等について説明	研究者 1名
3	9/11 関西大学	研究者3名による国内ケース(あねっこバス、LEAF、車粉)を基にしたコレクティブ・インパクトの可能性について議論。	研究者 3名
4	10/19 オフィス ぱれっと	NPOセクターから話題提供(ゆりかごタクシーとベビー防災、子育て支援、大阪NPOセンターのミッションや設立後の多彩な事業展開)	NPO担当者 3名
5	11/5 阪南市役 所	行政セクターから各自治体での取り組み報告(コレクティブ・インパクトの内部情報共有と外部情報公開、まちづくりの現状報告、そこまで木って委員会)	行政担当者 3名
6	12/11 大阪商工 信金	企業セクターから各企業での取り組み報告(高齢者向け引越サービス事業、NPO法人との協働事業、CSRの考え方と実現するための取り組み)	企業担当者 3名
7	2/16-17 古泉閣	分科会のまとめと今後の展開	研究者 1名

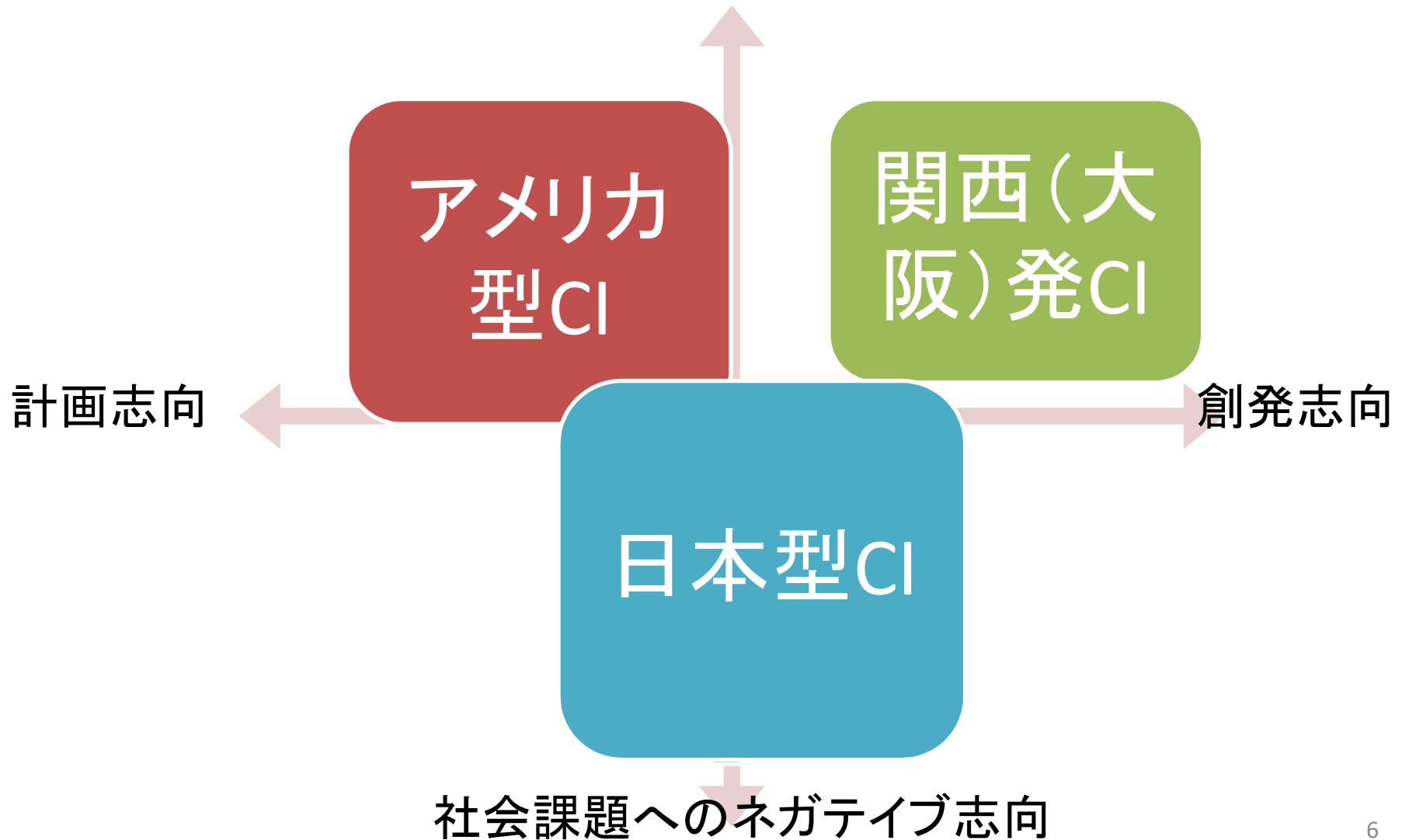
CIを生み出す5つの条件

Kania=Kramer(2011)より



関西（大阪）発CIの方向性

社会課題へのポジティブ志向 （横山先生レジュメより）



関西(大阪)発CIのイメージや進め方

- 教育課題や地域課題の規模や深刻さの違いからCIの進め方にも違い(待ったなしの米国とまだ余裕のある日本(関西)との違い)⇒関西では多様で創発的な取り組みが有効
- 社会課題に対するスタンスは、悲観的かつ深刻というよりも能動的で挑戦的⇒関西では社会課題の解決をポジティブなチャンスとして見る方が有効(ソーシャルビジネス)
- 関西流の個性(人情味やお節介、厚かましさ、ベタさなど)を前面に出したCIの可能性
- 内向きの関西流の議論はむしろ逆効果であり、他の異質性との混じり合いの中で関西ならではのユニークさが生れる(たとえば海外との連携)



既に福井県池田町など萌芽的取り組み

CIのつなぎ役の機能と人材

- バックボーン組織の条件やそこで働く人材の育成は関西発CIを構想する上で最も重要なポイント(資金人材合同分科会の喫緊の課題)
- 最適人材を考えるよりも、多様な人材の組み合わせ
- 特にプレイヤーだけでなくバイプレイヤー(脇役だが存在感のある人)の重要性
- つなぎ役としての人材のスキルやマインド、バックグラウンドの抽出と因数分解をもとに、つなぎ役育成に必要なプログラムを考える

2019年度人材分科会の予定(継続)

- 日本各地での萌芽的CIについての理解(ゲストスピーカーによる話題提供)
- CIを担うバックボーン組織や人材についての検討(候補者数名によるパネル討議など)
- 日本のCIのケース発掘とケース分析
- 欧米でのCIの最近の動きや課題のキャッチ
- 最終アウトプットはCIについての書籍出版(2020年度内)
- 第1回は6月3日(月)中嶋先生「CIから見た福井県池田町の分析」大阪商業大学